

クレドール(金の鍵) べい



在宅小児 言語聴覚士によるケアのすすめ

お子様の言葉・コミュニケーションの遅れが気になっておられませんでしょうか？

- ・自分から話そうとしない
- ・3歳を過ぎても一語文や単語の羅列のような、カトコトのような話し方をす



などの症状がある場合、もしかしたら言語聴覚療法の適応かもしれません。

言語聴覚療法では言葉がでない・遅い幼児期の子どもの言葉の発達を促す為に日常会話、コミュニケーションや遊びの中で言葉の能力を伸ばす療育を行っています。

例えば…

- ・発語を促し単語から2語文、3語文へと発語を促す
- ・絵カードなどを使って語彙を増やす
- ・質問の受け答え
- ・順序だててお話しする
- ・お話を作る
- etc.



上記のように言語聴覚訓練やコミュニケーション訓練を遊びながら楽しくさせていただきます。

現在当社では、精神運動発達遅滞／脳性四肢体幹麻痺／自閉スペクトラム症／知的障害／大脳皮質形成異常／脳性麻痺／腎不全（腹膜透析中）／白質消失症／脊髄髄膜留／不登校など、様々なお子様に訪問させていただいております。

訪問に際しては医師からの許可があり、訪問看護指示書を記載頂ければ訪問可能です。

訪問時に言語聴覚士が各利用者様の状態に応じたりハビリの計画を立案し、改善に向けてすすめていきます。お子様の言葉の発育のお手伝いとして言語聴覚士の訪問をご検討いただければ幸いです。ぜひお気軽にお問い合わせくださいませ。

言語聴覚療法では小児の言語療法の他に、成人の失語症、構音障がいや嚥下障がいにも対応しています。

また弊社では言語聴覚士以外に作業療法士、理学療法士も在籍しており、運動の発育にも対応可能です。こちらもお気軽にご相談ください。



クレド訪問看護ステーション

本部 ☎ 072-681-4670

阪急高槻 ☎ 072-609-5208 吹田 ☎ 06-6170-6760